

令和7年度第2回 JAGREE セミナー発表報告

研究推進部 研究推進室渉外チーム 研究員 吉瀬弘人

昨年、農村工学研究部門は、産学連携を強化し、技術の向上と普及を図ることを目的として、一般社団法人農業土木事業協会と連携協定を締結しました。本協定では、農工研の研究成果等を協会員へ広く普及するとともに、共同研究の推進などを通じて、連携および協力を進めていくことが確認されました。

令和8年1月22日に開催された令和7年度第2回 JAGREE セミナーでは、約200名の参加者の中、農地基盤情報研究領域・農地整備グループの若杉グループ長補佐が登壇し、農業農村整備分野における BIM/CIM（情報化施工）の推進状況や ICT 導入実証事業の事例を紹介しました。また、得られたデータの利活用を促進するための基盤技術として開発を進めている「農業農村デジタルプラットフォーム（NNDP）」の概要やユースケースについて紹介しました。

セミナー参加者からは、調査・設計・施工・維持管理・営農の各フェーズでデータを活用する「データ活用サイクル」の確立に向けた取組みに対し、大きな期待が寄せられました。さらに、具体的な利活用の例として、特に暗渠の位置情報を営農現場で活用する事例は実用性が高く、非常に参考になったとの意見が多数寄せられました。



図 説明の様子（若杉グループ長補佐）